

台湾リスによる 被害が拡大中です！



シイタケほだ木の被害



樹皮はぎ被害(人工林)



樹皮はぎ被害(天然林)



柑橘類の被害



街路樹の被害



通信ケーブルの被害

「台湾リス」は、外来種であり、外来生物法の定める特定外来生物に指定されました。伊豆半島東海岸では、「台湾リス」により、ニホンリスとの競合、シイタケほだ木被害、樹皮はぎ被害、柑橘類被害、通信ケーブル被害などが発生しています。

静岡県林業技術センターでは、分布の拡大の範囲やその特徴について調査をしました。

裏面には、詳しい試験研究結果があります。





台湾リス

台湾リスとは？
(クリハラリスの台湾固有亜種)

体 重：300～360g

頭胴長：20～22cm

尾 長：17～20cm

特 徴：腹部が栗色

分 布：台湾

(インド西部、中国南部、マレー半島)



ニホンリス

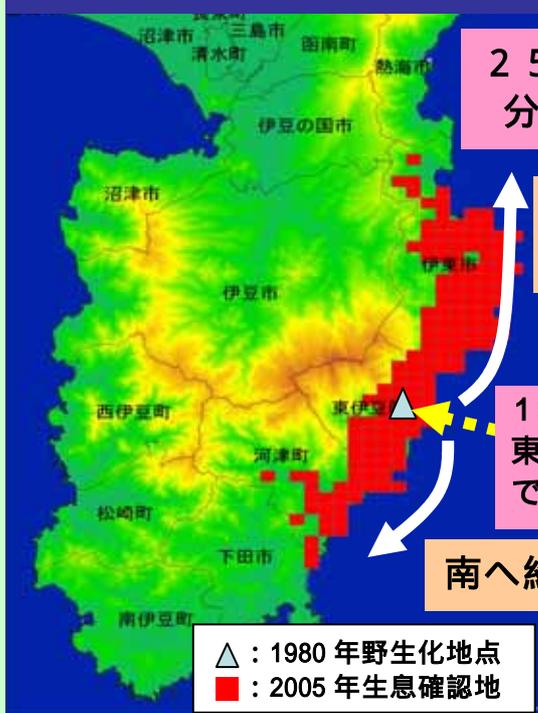
ニホンリスとの違いは？

体の大きさ：台湾リス > ニホンリス

腹部の色：白色

伊豆半島東海岸での「台湾リス」の分布と拡大状況

伊豆半島東海岸の台湾リスの分布

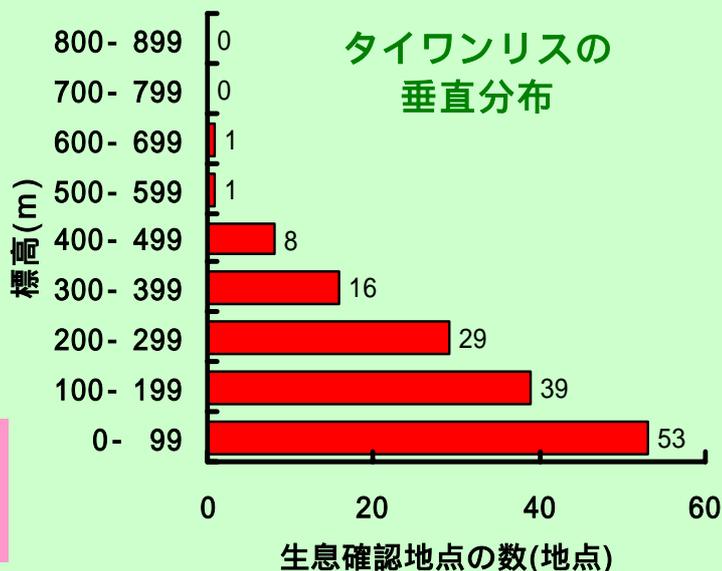


25年間の
分布拡大

北へ
約20km

1980年
東伊豆市奈良本
で個体が逃げた

南へ約15km



標高700m以下の地域で分布を拡大している。特に海岸に近い低標高域を中心に拡大している。(台湾リスは南方系の動物で耐寒性が低いことが大きく影響していると推測)

樹皮はぎによる海岸林の植生変化への影響

海岸林での樹皮はぎ被害の実態調査の結果、今後、海岸林内でのハゼノキ、タブノキの優占度の低下、海岸前線のトベラの衰退が予想される。

国内屈指のシタ生産地伊豆市への分布拡大

伊豆東海岸と伊豆市の境は、標高360mの冷川峠から500m前後の稜線が続くため、今後、稜線を越えて伊豆市側への分布拡大が予想される。

被害が拡大する前に積極的な捕獲等早急な対策が必要です。

発行日：平成19年3月1日

編集：静岡県林業技術センター

発行：静岡県林業技術センター振興協議会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 (静岡県森林組合連合会内) TEL (054)253-0195 FAX (054)253-2328